

新旧対照表

改正前
埼玉県土木工事共通仕様書
(第1巻 151ページ)
第1編 共通編
第1章 総則
第1節 総則
1-1-1-36 環境対策
1～6 (略)
7. 特定調達品目
受注者は、資材、工法、建設機械または目的物の使用にあたっては、事業ごとの特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成15年7月改正法律第119号。「グリーン購入法」という。）」及び「埼玉県グリーン調達推進方針」に定められた特定調達品目の使用を積極的に推進するものとする。

改正後
埼玉県土木工事共通仕様書
(第1巻 151ページ)
第1編 共通編
第1章 総則
第1節 総則
1-1-1-36 環境対策
1～6 (略)
7. 特定調達品目及び <u>彩の国リサイクル製品</u>
受注者は、資材、工法、建設機械または目的物の使用にあたっては、事業ごとの特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成15年7月改正法律第119号。「グリーン購入法」という。）」及び「埼玉県グリーン調達推進方針」に定められた特定調達品目や、「 <u>彩の国リサイクル製品認定制度実施要綱</u> 」に基づく <u>彩の国リサイクル製品</u> の使用を積極的に推進するものとする。

## 第2 仕様書編

## 5. 特定特殊自動車の燃料

受注者は、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたって、燃料を購入して使用するときは、当該特定特殊自動車の製作等に関する事業者または団体が推奨する軽油（ガソリンスタンド等で販売されている軽油をいう。）を選択しなければならない。また、監督員から特定特殊自動車に使用した燃料の購入伝票を求められた場合、提示しなければならない。

なお、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたっては、下請負者等に関係法令等を遵守させるものとする。

## 6. 低騒音型・低振動型建設機械

受注者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術参事官通達、昭和62年3月30日改正）によって低騒音型・低振動型建設機械を設計図書で使用を義務付けている場合には、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用しなければならない。ただし、施工時期・現場条件等により一部機種種の調達が不可能な場合は、認定機種と同程度と認められる機種または対策をもって協議することができる。

## 7. 特定調達品目及び彩の国リサイクル製品

受注者は、資材、工法、建設機械または目的物の使用にあたっては、事業ごとの特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成15年7月改正 法律第119号。「グリーン購入法」という。）」及び「埼玉県グリーン調達推進方針」に定められた特定調達品目や、「彩の国リサイクル製品認定制度実施要綱」に基づく彩の国リサイクル製品の使用を積極的に推進するものとする。

### 1-1-1-37 文化財の保護

#### 1. 一般事項

受注者は、工事の施工に当たって文化財の保護に十分注意し、使用人等に文化財の重要性を十分認識させ、工事中に文化財を発見したときは直ちに工事を中止し、設計図書に関して監督員に協議しなければならない。

#### 2. 文化財等発見時の処置

受注者が、工事の施工に当たり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、発注者との契約に係る工事に起因するものとみなし、発注者が、当該埋蔵物の